

■ 講評

医療・福祉・建築などの専門家や一般市民、障害者などが集まり、平成4年に発足して以来、長年にわたり、生活者の視点から障害のあるなしにかかわらず、日常生活や社会活動を行うことが保障されたまちづくりを目指した活動を行っている。「バリアフリー」という言葉やその概念が十分定着していなかった発足当時から、広報啓発、研究事業等における先進的な取り組みにより「バリアフリー」の普及に努めてきた。

住宅改善相談受付や自立生活モデル

住宅の企画協力など専門的なアドバイスによる実践的なバリアフリーの普及の他にも、各種の研究成果を積極的に広く公開するとともに、一般市民にも開かれたシンポジウムや優良建築物の表彰制度などの実施により、「バリアフリー」の一般への普及に大きく寄与してきた。

また、都市交通におけるバリアフリーも必要との認識から、ノンステップバスの試乗会等の数々のイベントや導入に向けた署名活動を実施するなど、全国初の超低床路面電車や九州初のノンステップ低床バスの導入を市民レベルで後押ししてきた。



第1回バリアフリー住宅公開セミナー（平成8年）



ノンステップ低床バス試乗会（平成8年）